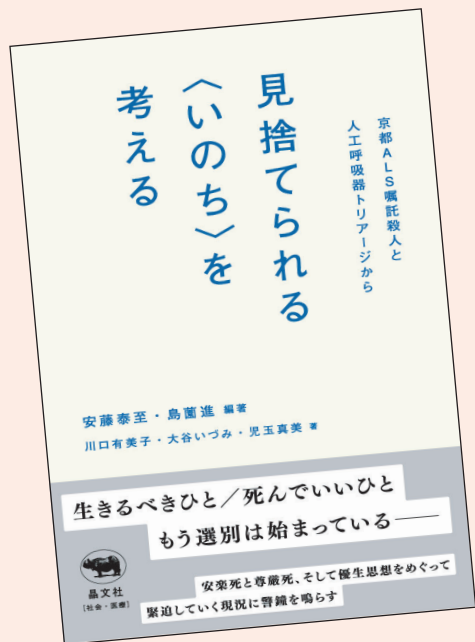


『見捨てられるへいのち』を考える 著者たちと語る夕べ

安楽死と尊厳死、そして優生思想 をめぐって緊迫していく現況に 警鐘を鳴らす——

2020年7月、ALS（筋萎縮性側索硬化症）の女性患者に薬物を投与したとして、ふたりの医師が嘱託殺人の容疑で逮捕された。同じ年、コロナ禍で医療が逼迫するなか、人工呼吸器をどの患者に優先して使うべきかの議論が紛糾。医療がひとの生命を縮めうるという事実、私たちは直面せざるを得なくなった——。



四六判並製・264頁
定価：本体 1800円＋税
ISBN978-4-7949-7280-4 C0036
10月27日刊行

研究者として当事者として支援者として、死生学や生命倫理に長らく携わってきた著者たちが本書を緊急出版。刊行を記念して、立命館大学教授・美馬達哉さんをゲストに迎え、著者5名と大いに語ります。

◆日時：2021年12月12日（日）19：00～21：00
第1部 19：00～20：00 著者5名+ゲストによる座談会
第2部 20：00～21：00 参加者との質疑応答

◆登壇者

本書著者：

安藤泰至（鳥取大学医学部准教授）

島菌進（上智大学グリーンケア研究所所長）

川口有美子（ALS / MND サポートセンターさくら会副理事長）

大谷いづみ（立命館大学産業社会学部教授）

児玉真美（ライター、日本ケアラー連盟代表理事）

ゲスト：

美馬達哉（立命館大学先端総合学術研究科教授）

◆Zoomによるオンライン配信

◆参加費：無料。下記よりご寄付を募っております。

【寄付口座 横浜銀行鶴見支店 店番号 361

普通口座 1550312 神野玲子】

◆要事前予約：受付期間は本日から12月11日まで

◆予約方法：

氏名（ふりがな含む）／メールアドレス／電話番号を明記の上、必ず「刊行記念企画申込」とお書きいただき、下記アドレスまでお送りください。

yr2305080@gmail.com

*メールアドレスに誤記があると参加案内が送れませんので、ご注意ください。

こちらからもお申込みいただけます。

<https://forms.gle/bB9VjLBTfG1R7CsH8>



◆Zoom URL を12月10日頃メールにてお送りいたします。

◆お問合せ先：神野玲子 090-2669-0413

◆ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/>